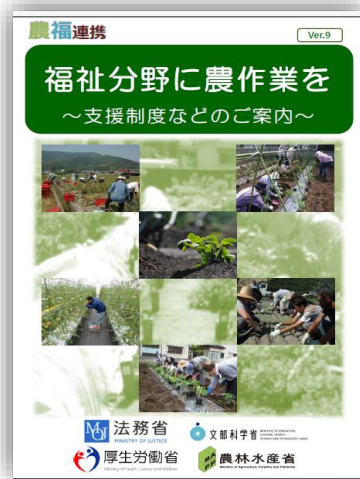


③ 農業と福祉の連携～社会参加・地域のつながり～

近年、農業分野と福祉分野が連携した「農福連携」の取組みが広がりつつあります。

9月28日、ワーキンググループ（WG）を開催し、農福連携の観点から社会参加に向けた支援方法等を協議し、農業と福祉のそれぞれの視点から現状と課題等について整理しました。

具体的な取組みとして、町内の農業生産法人等を訪問し、農福連携への理解や体験活動、受入れ等をイメージした時の不安や課題等について把握し、次回のWGで情報共有を行うこととしています。



④ 木工作にチャレンジ！～森林・環境学習～

檜葉町北・南小学校では、森林・環境学習にも取り組んでいます。10月4日、外部講師を招き「もりは緑のダム」と題し、森林が暮らしに深く関わっていることについて学習しました。また、間伐材を活用したイスづくりにもチャレンジし、木の香りや温もりを感じながらイキイキと取り組んでいました。

産業振興課は、様々な機会を通して農林水産業に関する取組みをサポートします。



自然豊かな町環境維持や継承は、未来を担う子どもたちへの最良のプレゼントです

「もりは、緑のダム」

1. 災害を防ぐ 防風林 砂防林
2. 水を貯える 雨水を吸い込む
3. きれいな水を生み出す
4. 空気をきれいにする 酸素を出す
5. 材木ができる 家の柱が出来る
6. 音を吸収する
7. 生物、植物を育む



チャレンジ農業！次のステージへ！

営農情報 ならは 14

檜葉町産業振興課

- ① 令和3年産米の概況 ～等級比率、品質状況～
- ② 「収穫・出荷指導会」開催！ ～檜葉町甘藷生産部会～
- ③ 農業と福祉の連携 ～社会参加・地域のつながり～
- ④ 木工作にチャレンジ！ ～森林・環境学習～



① 令和3年産米の概況～等級比率、品質概況～

檜葉町では、300ヘクタールを超える水田で「天のつぶ」や「コシヒカリ」等が栽培されています。令和3年10月15日現在の1等米の比率は、83%で前年を上回る状況。2等米の比率は17%で胴割粒と着色粒が主な格付け理由となっています。乾燥を行う場合は、急激な乾燥を避けるよう調整しましょう。また、着色粒は、カメムシによる吸害に起因するものですので、草刈りのタイミングや適期防除等を行い、高品質な檜葉産米を生産しましょう！



包装・荷造り検査後に等級の格付けを行います。

新米！檜葉う米を是非ご賞味ください！

檜葉う米は、町内で作られた「天のつぶ」と「コシヒカリ」をカントリーエレベーターにおいて品質等を均一化し、1等米だけを使用した檜葉町のブランド米です。道の駅ならは物産館等で販売されているほか、ふるさと納税の返礼品としても人気の商品です。是非、ご賞味ください！



発行日 令和3年11月
発行 福島県檜葉町
編集 檜葉町産業振興課
〒979-0696

笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは
～「ふるさと」の良さを活かした、しなやかなまちづくり～

福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
TEL：0240-23-6104 FAX：0240-25-1234



② 「収穫・出荷指導会」開催！～檜葉町甘藷生産部会～

檜葉町甘藷生産部会は昨年末に設立され、33名の部会員が甘藷栽培にチャレンジしています。

9月30日、貯蔵施設において、JA福島さくらふたば地区本部主催による甘藷の収穫・出荷に関する指導会が開催されました。



甘藷貯蔵施設の内部を見学し、説明を受ける部会員の面々

【甘藷の出荷等について】

部会員や関係者等約30名が参加し、JA担当者から甘藷の出荷等に関する説明を受けました。

- ①食の安心安全新鮮確保対策として
 - ・「農産物生産協定書の締結」
 - ・「栽培管理日誌の提出」
- ②出荷・販売に際して
 - ・「放射性物質検査の実施」
 - ・「出荷する場所や規格、手順等」
- ③販売・機械等の各種申込みについて
 - ・「委託・自家販売の記入」
 - ・「収穫・出荷用コンテナの使用」
 - ・「甘藷収穫機の利用」



世界最大級の甘藷貯蔵施設で1260トン貯蔵することが可能

【収穫前の作業等について】

県双葉普及所の担当者から、収穫前の作業手順や留意点等の説明を受けました。その後、株式会社しろはとファームによる作業の実演が行われました。ほ場での作業手順は、①ツル刈り→②マルチはぎ取り→③収穫。一連の作業は機械で行うことも可能です。



ツル刈り作業



マルチはぎ取り

【収穫のポイント】

収穫前に試し掘りを行い、生育状況を確認することや葉の青みが薄れてきた時期から作業を始め、11月上旬までには作業を完了できるように計画的に行いましょう。腐敗防止のため、ほ場が乾いている時に収穫するようにしましょう。

収穫に関する留意事項や安全な作業手順等について説明を受け、その後、甘藷収穫機「ポテカルゴ」による実演を行いました。収穫作業は低速で行われ、次々と掘り起こされてくる芋を移動保管用のコンテナに入れる工程を見学しました。



甘藷収穫機

注意！～農作業死亡事故多発～

機械作業に伴う安全対策として次の点に注意しましょう！

- ①「ヘルメット装着」で安全に作業をしましょう。
- ②草刈機の掃除や置く際は必ずエンジンを停止しましょう。
- ③コンバイン等の後退時は、誘導員の配置を行いましょう。
- ④命を守るため「シートベルト」を装着しましょう。
- ⑤低速車マークや反射テープ、灯火類等を設置しましょう。

※（参考）JAグループふくしま「農業機械作業の安全対策」



地表全面を覆うことによる抑草効果も期待されています。

【次作への対応】

- ①深耕等による土壌改善、②排水対策の徹底、③良質な堆肥の施用による土づくりのほか、「ヘアリーベッチ」等のマメ科冬作緑肥の導入もオススメです。



甘藷の栽培方法や病害虫等に関するご相談は、県双葉農業普及所（☎0240-23-6473）もしくは、産業振興課（☎0240-23-6104）まで、お願いいたします。